

志布志市 地震防災マップ 揺れやすさマップ

地震防災マップに関するお問い合わせ先
 志布志市役所 建設課
 〒899-7492 鹿児島県志布志市有明町野井倉 1756番地
 TEL: 099-474-1111 / FAX: 099-474-2281

「揺れやすさマップ」とは、想定した地震が起きた時に、市の中でどのくらいの揺れの強さ(震度)になるのかを計算し、約50mの区画ごとに表したものです。ご自宅の周辺や普段からよく行くところ、よく通るところなどについて、想定されている揺れの大きさを確認してみてください。また、災害時の避難場所や地震が発生した時の対応などを家族や周囲の方と相談してみてください。

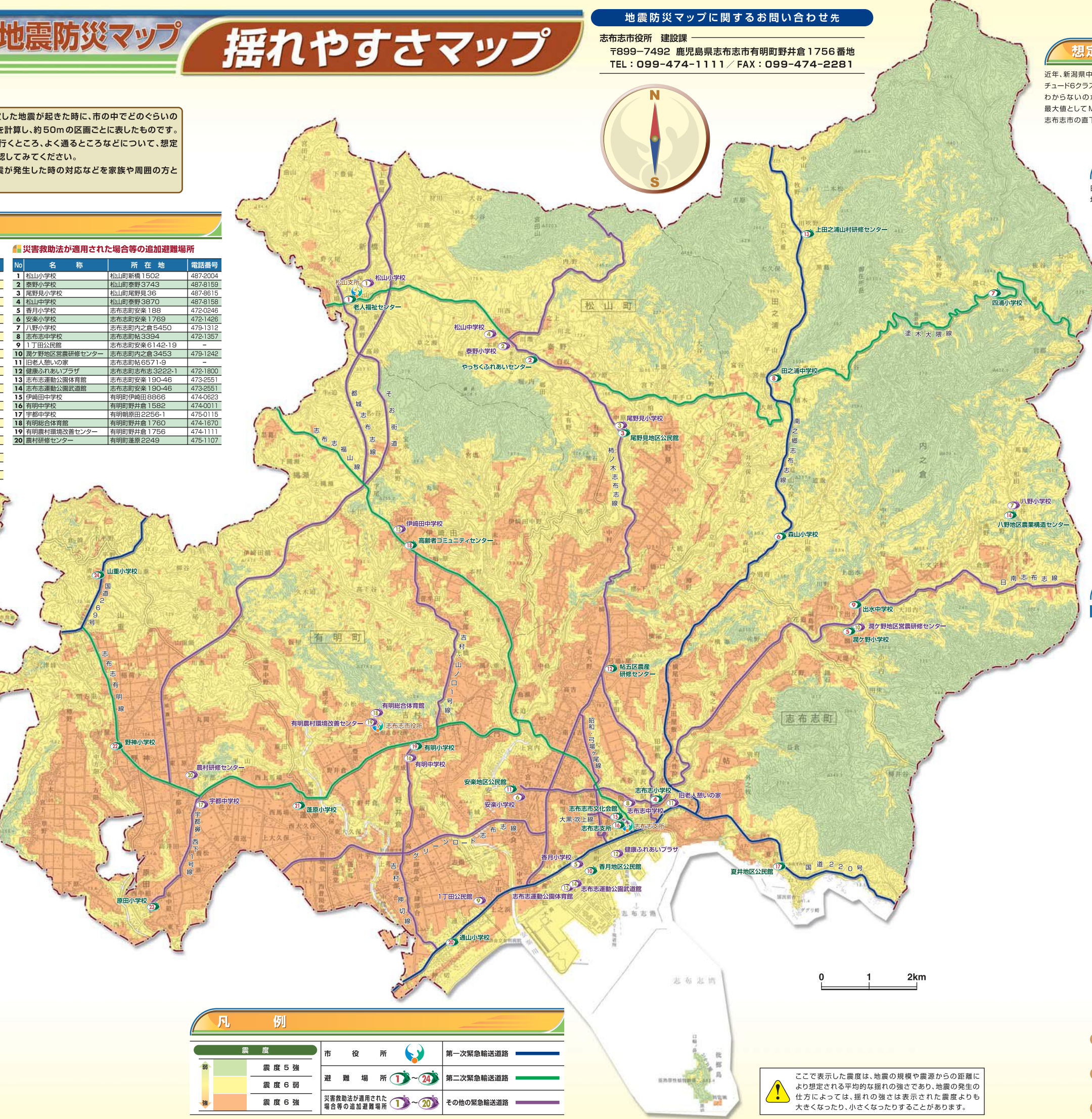
避難場所一覧

■ 避難場所				■ 災害救助法が適用された場合等の追加避難場所			
No	名称	所在地	電話番号	No	名称	所在地	電話番号
1	老人福祉センター	松山町新橋268	487-2111	1	松山小学校	松山町新橋1502	487-2004
2	やっくふれあいセンター	松山町栗野3410	481-4000	2	栗野小学校	松山町栗野3743	487-8159
3	尾野見地区公民館	松山町尾野見44-3	487-8776	3	尾野見小学校	松山町尾野見36	487-8615
4	志布志小学校	志布志町帖6398	472-1358	4	松山中学校	松山町栗野3870	487-8158
5	潤ヶ野小学校	志布志町帖10688	479-1314	5	香月小学校	志布志町安楽188	472-0246
6	森山小学校	志布志町内之倉1643	479-1616	6	安楽小学校	志布志町安楽1769	472-1426
7	四浦小学校	志布志町内之倉7185	479-1621	7	八野小学校	志布志町内之倉5450	479-1312
8	田之浦中学校	志布志町田之浦2018	479-1620	8	志布志中学校	志布志町帖3394	472-1357
9	出水中学校	志布志町内之倉3500	479-1316	9	1丁公民館	志布志町内之倉6142-19	-
10	香月地区公民館	志布志町志布志3丁目28番6号	473-0321	10	潤ヶ野地区農業研修センター	志布志町内之倉3453	479-1242
11	安楽地区公民館	志布志町安楽1781	472-3627	11	旧老人憩いの家	志布志町帖6571-9	-
12	帖五区農産研修センター	志布志町帖4789	472-5650	12	健康ふれあいプラザ	志布志町志布志3222-1	472-1800
13	上田之浦山村研修センター	志布志町上田之浦1684-4	-	13	志布志運動公園体育館	志布志町安楽190-46	473-2551
14	八野地区農業構造センター	志布志町内之倉4525	479-2253	14	志布志運動公園武道館	志布志町安楽190-46	473-2551
15	志布志市文化会館	志布志町志布志2238-1	472-3050	15	伊崎田中学校	有明町伊崎田8866	474-0623
16	志布志支所	志布志町志布志2丁目1番1号	472-1111	16	有明中学校	有明町野井倉1582	474-0011
17	夏井地区公民館	志布志町夏井485	-	17	宇都中学校	有明町原田2256-1	475-0115
18	高齢者コミュニティセンター	有明町伊崎田8895	474-1510	18	有明総合体育館	有明町野井倉1760	474-1670
19	有明小学校	有明町野井倉1182	474-0006	19	有明農村環境改善センター	有明町野井倉1756	474-1111
20	通山小学校	有明町野井倉8304-4	477-0555	20	農村研修センター	有明町原田2249	475-1107
21	蓬原小学校	有明町蓬原815	475-0102				
22	野神小学校	有明町野神3139	475-0002				
23	原田小学校	有明町原田529-2	475-0004				
24	山重小学校	有明町山重10873-2	475-0055				

震度と揺れによる周囲の状況

3.5	●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●覆りの重い物が、倒れることがある。
4	●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
4.5	●物につかまらないうつろいやすくなる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック壁が倒れることがある。
5弱	●立つていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建築物は、互が落下したり、建物が傾いたりすることがある、倒れるものもある。
5.0	●物につかまらないうつろいやすくなる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック壁が倒れることがある。
5.5	●立つていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建築物は、互が落下したり、建物が傾いたりすることがある、倒れるものもある。
6弱	●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ●耐震性の低い木造建築物は、壊れものや、倒れるものが多い。 ●大きな地震割れが生じたり、大規模な土砂崩れや山体の崩壊が発生することがある。
6.0	●耐震性の低い木造建築物は、壊れものや、倒れるものが多い。 ●耐震性の高い木造建築物でも、まれに壊れることがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建築物は、倒れるものが多い。
6.5	●耐震性の低い木造建築物は、壊れものや、倒れるものが多い。 ●耐震性の高い木造建築物でも、まれに壊れることがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建築物は、倒れるものが多い。
7	●耐震性の低い木造建築物は、壊れものや、倒れるものが多い。 ●耐震性の高い木造建築物でも、まれに壊れることがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建築物は、倒れるものが多い。

凡 例			
震度 5強	市 役 所	第一次緊急輸送道路	
震度 6弱	避 難 場 所 ①～②④	第二次緊急輸送道路	
震度 6強	災害救助法が適用された場合等の追加避難場所 ①～②④	その他の緊急輸送道路	



ここで表示した震度は、地震の規模や震源からの距離により想定される平均的な揺れの強さであり、地震の発生する仕方によっては、揺れの強さは表示された震度よりも大きくなったり、小さくなったりすることがあります。

想定した地震

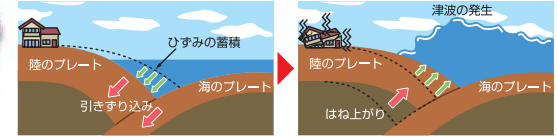
近年、新潟県中越沖地震など今まで注目されなかった地域で大きな地震が相次いで発生しており、マグニチュード6クラスの地震を発生させる活断層は未だ確認されていないものが多く、どこで地震が発生するかはわからないのが現状です。内閣府の「地震防災マップ作成技術資料」では、マグニチュード6クラスの最大値としてM6.9の地震を「全国どこでも起こりうる直下の地震」と位置づけており、今回の検討でも志布志市の直下で起きるマグニチュード6.9の地震を想定しました。

地震の起こるしくみ

日本は「陸側のプレート」と「海洋プレート」の境界に位置しており、地震が多く起きる地域です。地震の起こり方は、大きく、「海溝型地震」と「活断層で発生する地震」の2種類に分けられます。

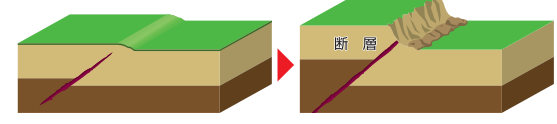
海溝型地震とは

海洋プレートが陸側のプレートの下にもぐり込むときに、陸側のプレートの先端を引きずり込んでいきます。ある限界になると引きずり込まれた先端が元に戻ろうと跳ねて、地震が発生します。



活断層で発生する地震とは

海洋プレートに引きずり込まれることにより、陸側のプレートの内部では押しあたり引っ張られたりする力が働き、あちこちでひび割れが生じます。その力に耐えられなくなると、地表から比較的浅いところの岩盤が、割れた面に沿って動くことにより地震が発生します。



① 震度とマグニチュード

地震のエネルギーの大きさを「マグニチュード」と呼び、地震の規模を示すことに用いられます。これに対して、ある場所での揺れの大きさを「震度」と呼びます。マグニチュードが大きな地震でも、震源が遠かったり深かったりすると、震度が小さくなります。

地震発生時の心構え / 行動のポイント

経過時間	ポイント
地震発生	最初の大きな揺れは1分間 ●まず、身を守る 机の下などへ。備えて外へ飛び出さない。 ●すばやく火を消す 危険が伴うので無理はしない。 ●脱出口を確保する ドア、窓を開ける。
発生 1～2分	揺れが収まったらまず火の始末 ●火元を確認する 火が出たら落ちて初期消火。 ●家族の安全を確保する 倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。 ●靴をはく 室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。
発生 3分	隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ ●隣近所に声をかける けが人・行方不明者の確認、救出・救護。 ●近所に火が出たら初期消火 大声で知らせる。 消火器を使う。 バケツ/バケツ/バケツ(風呂の水をためおきしておく)。 ●余震に注意
発生 5分	ラジオなどで正しい情報入手 ●正しい情報をつかむ ラジオや市役所、自主防災組織の情報を聞く。 ●電話はなるべく使わない 緊急連絡電話が優先。 安全確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。 ●家屋倒壊などの危険があれば避難 避難をするときはガス栓をしめ、ブレーカーを落とす。
発生 10分	協力して消火 救出・救護活動 ●助け合いの心が大切 力を合わせて消火活動、救出・救護活動。 ●水・食料は蓄えているもので 3日分の飲料水と食料を備蓄しておく。
発生数時間	壊れた家には入らない 無理をして、二次災害を起こしてはいけません。 ●災害情報・被害情報の収集 引き続き余震に注意。
発生3日くらい	引き続き余震に注意。